

広陵小3年生に環境体験学習 2016. 10. 24

グループわの里山和楽会（道満俊徳代表）のメンバー14人は、10月24日午前中、北区の広陵小3年生125人（4クラス、1クラス4班編成＝計32人位）を対象に環境体験学習授業を実施。広陵小から歩いて20分足らずの「かがやきの森」に入り、約3時間、散策路を歩き、秋の森の空気をたっぷりと吸いました。和楽会はクラス毎にメンバー3、4人を配置、先生役を務めました。このほか〈わ〉のメンバーら5人もお手伝い。森では児童は生き生きと行動、楽しんでいました。増えすぎた樹木を切り倒す学習では、ある女の子は「木が可哀そう」と悲しそうでした。



広陵小校庭で始めの会（立っているのは道満代表）



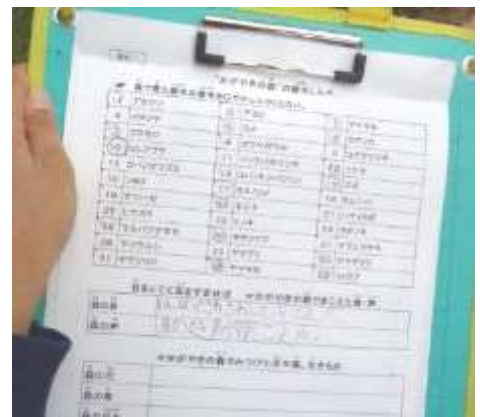
かがやきの森入り口で森の心得を説明



森で聞こえる音、声に耳をすます児童



和楽会が用意したアカマツの切り株の年輪調べ。年輪の数を数え、おおざっぱに形をスケッチした



33種類の樹木を表にした用紙を画板に貼り付け、見た樹木に○をつける

◆展望台で町の歴史を教えてもらい記念撮影



森の土をフルイにかけ、小さな生き物を探す



木の幹に▽の切り口を入れ、のこぎりを使い伐採



和楽会はコナラなどの落ち葉を木製のピットに敷き詰め、米ぬか、鶏糞などをまいて腐葉土も作っている。ピットの中に何がいるかな



秋色深まる中、締めくくりの話を聞く児童ら



手慣れぬハサミを使い剪定作業



午後からは教室で植物の種子戦略と題しての授業

文・永野知己 写真・水嶋和信